

## 平成27年度農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞者について

平成27年度農山漁村女性・シニア活動表彰の受賞個人・団体が決定しましたので、お知らせします。  
 なお、本表彰式は、毎年3月10日が「農山漁村女性の日」であることに伴い、3月第一週を中心にした「農山漁村女性の日」ウィークのイベントとして開催します。

### 〈平成27年度農山漁村女性・シニア活動表彰〉

#### 1. 目的

農山漁村における女性や高齢者といった地域の多様な人材は、農山漁村を支え、農山漁村生活の充実と地域経済の活性化に重要な役割を果たしており、農山漁村の6次産業化、食の安全・安心の観点からも、これらの活動が活発になるように支援していく必要がある。

このため、農林水産業及び農山漁村生活並びに農山漁村の活性化に優れた活動の実績をもち、男女共同参画の推進又はいきいきとした高齢者の活動の推進のために積極的に活動している経験豊富な女性・高齢者の個人又は団体を表彰することにより、女性や高齢者といった地域の多様な人材が農山漁村でいきいきと活躍できる環境づくりの推進に資するものとする。

#### 2. 受賞個人・団体

##### 最優秀賞

(農林水産大臣賞)

##### A. 女性地域社会参画部門

- ・埼玉 県 熊谷市 塚田 とよ子
- ・香川 県 丸亀市 三原 典子

##### B. 女性起業・経営参画部門

- ・宮城 県 美里町 伊藤 恵子
- ・徳島 県 那賀町 有限会社 柚冬庵

##### C. シニア起業・地域活性化部門

- ・大分 県 日田市 農事組合法人 畦道グループ食品加工組合
- ・熊本 県 荒尾市 海行原ふるさと愛好会

##### 優秀賞

(経営局長賞)

##### A. 女性地域社会参画部門

- ・岩手 県 宮古市 佐々木 悦子
- ・長野 県 松川村 松川村生活改善グループ連絡協議会
- ・長崎 県 平戸市 山本 順子

##### B. 女性起業・経営参画部門

- ・福島 県 飯館村 かーちゃんのカ・プロジェクト協議会
- ・群馬 県 桐生市 坂本 久美子
- ・山梨 県 南アルプス市 南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館

##### C. シニア起業・地域活性化部門

- ・島根 県 大田市 旬彩工房 きれんげ
- ・長崎 県 佐世保市 竹の子グループ
- ・鹿児島 県 奄美市 奄美地区生活研究グループ連絡協議会

(林野庁長官賞)

- ・岡山 県 真庭市 富原婦人林研クラブ (A. 女性地地域社会参画部門)

## 優良賞

(全国森林組合連合会長賞)

・岐阜県 中津川市 恵那こぶしの会 (A. 女性地域社会参画部門)

(全国農業協同組合中央会長賞)

・長崎県 雲仙市 農事組合法人 吾妻農産加工組合 (B. 女性起業・経営参画部門)

### 【表彰式等 (農山漁村女性・シニア活動表彰)】

日時 平成28年3月1日 (火)

開会 13:00～13:15

表彰式 13:15～14:00 (\*農山漁村男女共同参画優良活動表彰の表彰式を同時に実施予定)

活動報告 14:15～15:15

(農山漁村女性・シニア活動表彰、農山漁村男女共同参画優良活動表彰の大臣賞受賞者5名による)

場所 日本女子大学 新泉山館1階 大会議室

東京都文京区目白台2-8-1 電話 03-3943-3131 (大学代表)

主催 農山漁村男女共同参画推進協議会

後援 農林水産省、全国森林組合連合会、全国漁業協同組合連合会、全国農業協同組合中央会

問い合わせ先

農山漁村男女共同参画推進協議会

事務局

(一社) 農山漁村女性・生活活動支援協会内  
東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館4階

担当: 齋藤、村上

電話: 03-5777-5383

平成27年度 農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞個人・団体 活動概要

賞の種類	賞の名称	参加部門	都道府県名	個人・団体名	活動内容
最優秀賞	農林水産大臣賞	女性地域社会参画	埼玉県熊谷市	つかだ とよこ 塚田 とよ子	昭和48年に結婚し、就農。無農薬・減化学肥料栽培認証を受け、安全・安心な野菜作りに取組む。さらに、女性が中心となって道の駅を運営し、開発した加工品が道の駅で人気となった。その実績が評価され、議会推薦により平成14年から農業委員となり5期目。4年間で54組の家族経営協定締結に尽力し、教育委員会と連携した食育活動や地元農産物の学校給食への導入、麦産地維持のための営農組合設立などにも深く関わる。このほか地域女性組織の代表など多くの会で活躍、講演会講師も数多く努めるなど、地域への貢献度が高く、他の農業者や農業委員の模範となっている。
			香川県丸亀市	みはら のりこ 三原 典子	昭和44年に結婚し、就農。義父母とともに農業に従事。婦人会やJA生産部会・女性部や生活研究グループ等に関わり、40歳でJA女性部長に就任。地域の高齢化問題に取り組むため、高齢者助け合い組織の立ち上げなど多大に地域に貢献。平成14年に旧飯山町農業委員、25年に丸亀市農業委員会副会長に就任し、耕作放棄地解消などに広く尽力。16年には香川県農業士となり、翌年に県農業士連絡協議会副会長として後継者育成に尽力。現在も県男女共同参画審議会、農業・農村審議会、食の安全推進委員会など12の審議会などの委員を務め、女性農業者としての社会参画を積極的に行っている。
		女性起業・経営参画	宮城県美里町	いとう けいこ 伊藤 恵子	平成13年に農家レストランを開業。雇用安定と経営強化のため、22年に株式会社化して代表取締役就任。県事業で農産加工施設併設の農家レストランを新たに開業し、25年には販売額1億円を達成。現在もスーパーやデパートなどでの農産加工品販売、デイサービスへの進出など新たな事業を展開し、地場農産物の消費拡大と雇用確保に努めている。また、17年に家族経営協定を締結して認定農業者となり、21年には県指導農業士会副会長に就任。さらに農業委員公選により町で初の女性農業委員に選出、26年からは全国女性農業委員ネットワークの会長に就任。講演や視察の依頼も多く、全国女性起業者を牽引している。
			徳島県那賀町	ゆうげんがいしゃ 有限会社 ゆ とう あん 柚冬庵	男性の代表に代わり、平成18年に女性代表者となり経営に参画。女性目線での商品開発や、代表のコミュニケーション能力により、商工・流通・大学など農外の人脈を培って法人経営を発展させ、経営継承時に比べ売上額を約4倍(480万円→1,800万円)に増進。また、加工品開発や都市との交流拠点となるカフェの開設で、高齢者の交流や各種イベントなど地域の重要拠点となっている。最近加工受託にも取組み、地域内外の農業者の商品開発も支援。産地の進展に向けて、木頭ゆずクラスター協議会のリーダーとしても手腕を発揮中。
		シニア起業・地域活性化	大分県日田市	のうじくみあいほうじん 農事組合法人 あぜみち 畦道グループ しよくひんかこうくみあい 食品加工組合	昭和61年に設立。村おこしの一品として、様々な食材を混ぜたかりんとう製造を軸に、イベントや物産展で販売促進を行う。平成2年にシカゴの食品見本市、21年には上海のイベントにも出店。かりんとう作りを通じて子どもたちとの交流も行う。平成13年にはJR 天ヶ瀬駅前に開設された販売所の立ち上げにも参加し、農産物などの展示販売、定食の提供など積極的な起業活動を展開している。また、組合員の家事と農業との両立を目指し、労働条件の明確化と社会保障の整備等にも積極的に取り組む。
			熊本県荒尾市	かいご ぼる 海行原ふるさと あいこうかい 愛好会	平成22年に結成。耕作放棄地を菖蒲園やそば栽培、オリーブ園などに再生するとともに、無償貸出し農園を開設している。また、収穫祭、里山マルシェ等消費者との盛んな交流の場となり、地域が活性化。農産物の生産販売においても、消費者をほ場に呼び収穫する独自の販売方法をとっており、20aのトウモロコシは650名により4千本を完売、タマネギは260人により1,300kgが完売するなど、農地の有効利用や地域の実情を捉えた新たな販売方法等で地域に大きく貢献。これらの取組みが新聞やマスコミ等で取り上げられ話題を呼ぶ。

平成27年度 農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞個人・団体 活動概要

賞の種類	賞の名称	参加部門	都道府県名	個人・団体名	活動内容
優秀賞	経営局長賞	女性地域社会参画	岩手県 宮古市	ささき えつこ 佐々木 悦子	農村女性の過酷な労働環境の改善の必要性を感じ、昭和38年に「腹帯母親クラブ」を設立。子供達の食生活改善を目指し、月1回の料理教室をはじめ、農村生活の改善、環境美化、食文化の伝承等のリーダーとして、66年間地域社会活動を実践。平成3年に菓子製造許可を得て自宅で郷土菓子の製造・販売を開始。地域特産の梅を使った「梅大福」を開発して岩手県「食の匠」(第一期)に認定され、技術の継承にも努めている。現在も市の公開講座や小中学校の郷土料理体験の講師を務めるなど生涯現役と女性起業の模範となっている。
			長野県 松川村	まつかわむら 松川村 せいかあいでん 生活改善グループ れんらくきょうぎかい 連絡協議会	昭和39年に設立されて以来50年以上活動。農産加工や直売所の開設等で女性が中心となり地域農業の振興と活性化を図る。最近では、村の行事食を伝えるため、村内からの聞き取りによる「絵本」を次世代に伝えるべく、美術大生に昔の村の暮らしを理解して貰いながら編集会議を重ね、平成26年に絵本「とんすけとこめたろう」が完成。村内の保育園、小中学校等に寄贈するとともに、美術大生と共催で季節料理を親子で作るワークショップも開催するなど農業体験や食農教育の活動を展開中。また、メンバーが、農業委員や農協の理事、議会議員、区長など方針決定の場に登用されるなど地域社会に広く参画。
			長崎県 平戸市	やまもと じゅんこ 山本 順子	昭和57年に結婚後、畜産経営(肉用牛7頭)に参画。平成3年に青年短期海外研修で行ったヨーロッパの畜産から大規模経営に触発され牛の増頭を開始。放牧等の省力経営を行い、現在は肉用繁殖牛53頭、放牧地300aの肉用牛繁殖専門経営を確立。9年に生月町で第1号の認定農業者、10年に第1号の家族経営を締結、現在は81名が締結するなど、女性農業者として地域農業を牽引。10年に簿記グループ、26年に和牛ヘルパー組合の設立と運営に尽力。さらに、グリーンライフアドバイザー(H6~H9)、農業士(H10~H21)、農業委員(公選、H24~現職)を歴任し、中学校の体験学習や農大生の農家研修受け入れなど、農業の振興、農村における男女共同参画の推進、担い手育成に取り組んでいる。
		女性起業・経営参画	福島県 飯舘村	ちから かーちゃん の力 きょうぎかい プロジェクト協議会	震災による避難先で農村女性らの農産加工・販売活動の場がなかったのを契機に、24年1月に本協議会が結成。視察・研修、調理や販売等のノウハウを得てメニュー等を開発し、拠点「あぶくま茶屋」で販売。また同茶屋でイベントを開催し、避難者間及び地域住民との親睦を促進。さらに協議会の活動をブログやfacebookで発信し、全国300名以上のサポーターが支援。協議会の活動が、原発事故に伴う避難で県内外に離散した阿武隈地域の農村女性らをつなぎ、ともに汗を流し笑える場となるだけでなく、協議会のメンバーに支援された被災者が協議会を手伝うなどの好循環が発生。代表の渡邊氏は講演などで積極的に協議会活動を紹介、国内外からの視察も増えている。
			群馬県 桐生市	さかもと くみこ 坂本 久美子	昭和48年に夫と新規参入(共同経営)し、シクラメン及びアジサイの鉢花生産と育種事業を通じて経営を発展させてきた。国際園芸博覧会「フロリアード'92」では品種登録した「ミセスクミコ」が金賞を受賞、現在もオリジナル品種による鉢花生産が経営の柱である。平成元年に(有)さかもと園芸を設立し取締役となり、18年に家族経営協定締結、19年に夫が大病を患って以降は、自らが先頭に立ち会社を経営。次女夫婦へ技術や思いをバトンタッチする準備も進めている。地域社会活動では、12年~現在まで農業委員として担い手育成や中山間地域農業の振興、学校や地域で花壇づくりや稲作の栽培体験などの食農教育活動の推進を図るとともに、「桐生みどり農村女性会議会長」として、地域農業の発展と男女共同参画にも尽力している。

平成27年度 農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞個人・団体 活動概要

賞の種類	賞の名称	参加部門	都道府県名	個人・団体名	活動内容
優秀賞	経営局長賞	女性起業・経営参画	山梨県南アルプス市	みなみ南アルプス とくさんひんきぎょうくみあい 特産品企業組合 ほたるみ館	平成11年に既存の生活改善研究会のメンバーを中心として、「あやめの里特産品加工組合」が発足し、16年に同組合を母体に「南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館」を設立して活動を展開中。農産物の生産・加工・販売の各部会で組織され、毎月の運営会議を通じて各部会が連携。農産加工品は原材料に地元農産物を使用、多くの商品を販売し、ジャムや味噌、梅漬は甲斐路の認証食品となるなど、品質の高い商品づくりを実践。さらに、消費者への体験学習や、学校給食への食材や行事食の提供など、食育と伝統文化の継承活動を積極的に行い、地域農業への理解促進にも大きく貢献。女性起業の先駆的な存在として地域農業の振興や活性化を担っている。
		シニア起業・地域活性化	島根県大田市	しゅんさいこうぼう 旬彩工房 きれんげ	平成19年の結成以来、弁当・惣菜・菓子製造などに活発に取り組んでおり、優れたリーダーの存在、会員の職歴を活かした組織体制・役割分担の確立、会員一人一人の経営への参画等を成功の要因として、女性・高齢者の活躍の場と経済活動への発展の両面で成果をあげている。また、経営・運営面では完全に独立しているが、JALまね石見銀山女性部の関係組織であることから、JAとも連携した地産地消や食育の推進、地域内外への食文化の発信、JA女性部の若手組織であるフレッシュミズ部会の講師など、地域の多様な活動や女性の人材育成に貢献。さらに、JAの営農部門や産直店舗部門との連携では、規格外農産物を活用した新商品開発を行い、地域の農業振興に貢献。
			長崎県佐世保市	たけのこぐらーぶ 竹の子グループ	松山生活改善グループが平成2年に「竹の子グループ」と改名、12年には直売所「田舎のより道」を開業して近隣の大型農産物直売所や、スーパーにも加工品などを出荷し販路を拡大。また、料理教室では直売所の若手会員に地元農産物を使用した郷土料理の伝承を行うとともに、小中学校の講義で食の大切さを子供達に伝えるなど、地元の様々な年代を対象に地元農産物を活用しながら地域活性化に取り組む。さらに、県生活研究グループ連絡会に所属し、県内の郷土料理を集めたレシピ集の作成や、地域活動である「わざよせ交流会」を開催するなど、県下での活動も積極的に行っている。
	鹿児島奄美市	あまみ ちく 奄美地区 せいかけんきゅう 生活研究グループ れんらくきょうぎかい 連絡協議会	同協議会は、奄美5島のうち3島（奄美大島、喜界島、加計呂麻島）から構成。奄美の食を後世に伝承したいと、平成15年度から「食の伝承講座」を開催し延べ3千人が参加。農産加工活動や農産物直売所経営では、協議会の中から10グループが起業、売上では会員3法人が県内女性起業のトップ20に入るなど女性起業を牽引。離島の不利な条件を克服し、豊富な地域農産物を活用した起業活動により、農業振興や雇用の場の創出、地域経済の活性化に大きく貢献。27年度には、加工業者、ホテル等の異業種を交えた「あまみならではの“食”魅力アップネットワーク」の設立に尽力するなど奄美地域における“食”推進のキーパーソンとして大きな役割を果たす。		
林野庁長官賞	女性地域社会参画	岡山県真庭市	とみはらふじん 富原婦人 りんけん 林研クラブ	昭和56年に結成された富原婦人林研クラブは、有数の林業地である真庭市富原地区において、優良材生産に向けた間伐・枝打ち技術の研修・林業経営での帳簿管理などの勉強会を開催し、林業の知識・技術を得ることで女性の林業経営参画を34年の長きにわたり継続。また、山野草の知識を深め、山の恵みを活かして約60種類のレシピ作成や、農業生産法人と提携し薬草料理の普及、加工品開発等に取り組む。当クラブが商品開発した山野の「クズ」と地元名産のお茶を活用したブレンド茶は、地域特産品として定着するなど農山村の活性化に貢献。年間約40回の集会を開催し、出席率は約8割と主体的かつ積極的な活動を行っている。さらに、高校生への環境教育活動を通しての後継者育成や、建築会社と連携した「森林バスツアー」の受入による県産材の需要拡大等、幅広い活動を実践するなど地域林業の振興及び農山村の活性化に大きく貢献している。	

平成27年度 農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞個人・団体 活動概要

賞の種類	賞の名称	参加部門	都道府県名	個人・団体名	活動内容
優良賞	全国森林組合連合会会長賞	女性地域社会参画	岐阜県 中津川市	えな かい 恵那こぶしの会	平成9年に設立された恵那こぶしの会は、森林や林業に関心がある20代～70代の女性24名を会員に、森林教室や郷土料理の体験等を通じて、いろいろな世代との交流、都市住民や学生などとの交流を図り、地域の魅力の再発見、郷土料理の伝承、地域の魅力の発信をしている。中津川市、加子母地区の森林組合、製材所、林業グループ等の団体や企業が行う森林整備のイベントや、全国の木造建築を学ぶ学生が行う合宿等において、朴葉寿司や里芋餅など恵那地域の伝承料理の手作り体験を行い都市住民や学生が森林・林業や山村文化への興味を持つ契機となっている。森林教室は、小学生を対象に年2回行い、植生や地質の専門家による森林教室や地域の木を使ったクラフト体験などを実施し、将来を担う子どもたちが森林・林業に興味を持つきっかけを作っている。
	全国農業協同組合中央会長賞	女性起業・経営参画	長崎県 雲仙市	のうじ くみあいほうじん 農事組合法人 あずま のうさんかこう くみあい 吾妻農産加工組合	吾妻農協婦人部の役員が働き掛け、補助事業を活用し加工所を建設、婦人部員一人づつ出資して昭和56年に「農事組合法人吾妻地区婦人部農産加工組合」を設立。現在はJA島原雲仙吾妻女性部193人が母体となって加工部員12人を支えている。販路拡大、就業条件の整備、若手人材の確保と育成、加工所の衛生管理などの確な対応を行いつつ加工活動を35年継続している。顧客の高齢化に伴い、味噌などの購買量が減少し販売が伸び悩んでいるため、味噌ジャン、酢味噌の開発や地元企業と共に新商品開発にも取り組んでいる。更に小中学校からの職場体験受入れ、県内外、海外からの視察も受ける中、「女性起業活動」によって責任感と自立力、そして社会性とJA女性部としての結束力が高まったことを視察者に伝えるなど、女性起業活動のモデルとなっている。